

power SCRAMBLE

■ 我れまだ生きている

然るべき人々に感謝しつ
つ・・・

熊倉 英夫

令和2年1月吉日

昨年8月で、満83歳となった。

自分では若いつもりであるが、身体の方はなかなか反応してくれない。

これが高齢化現象と云うものかと、つくづく思う。

実は私は加齢と共に、それなりの内外の持病を抱えるようになった。特に平成28年1月クールダウン中にステッパーから後方へ転倒してしまい、腰椎を骨折し、再起不能と医師から告げられたが、ポジティブな人生に終止符を打ちたくないと強烈に思い、私なりに頑張っって今日に至っている。

整形外科的病名として「第一腰椎圧迫骨折・腰椎すべり症・腰部脊柱管狭窄症・両変形性膝関節症」要するに歩行も困難な身体となった。



一方内科的病名として「心房細動＝不整脈・慢性腎臓病による食事制限（塩分とたんぱく質のコントロール、従いサプリメントと痛み止めはNO）」である。

云うなればベンチプレスと対極の中で生きている。

今回は骨折以来、初の全日本ベンチプレス出場であったが直前になりモチベーションの低下で欠場したかった。

しかし、我が師、福田将志さん(66kgクラス世界大会3連覇偉大なる世界チャンピオン!!!)から再々に亘り「全国の皆さんも、私も楽しみにしている。この一年間激痛を押し頑張って来たから、なおさら全国第会で勝負する姿を見たい!!!」と。

熊倉選手(中央)、福田将志さん(左)、写真を提供いた抱いた川上京司さん(右)

power SCRAMBLE

2019年10月26日、全日本大会

第一試技 90 Kg○、

第二試技 100 Kg✕、

第三試技 100 Kg✕、

目標である 100 Kg成功を目指して、福田もサポートしていきます。(福田将志さんより)

「今回は急病で欠場したがその代わり熊倉さんの為にセコンドに全力を尽くす!!」と中野衛さん。

「自分は不調で逃げたいが出来ます。熊倉さんも気を振り絞って出場を!!」と吉野浩二さん。

3人の方々の熱意に打たれ「人間思われている内が華」と思い直し、欠場を覆すことを決断した。

肝心の試合は214名中、最年長である私は、初の66kgクラス、M4で初回は90kg辛ろうじて成功、2回目に勝負を掛け、押し切れたと思ったが、足台に踵が乗らずに滑り、普段の練習時の注意不足が悔やまれるが後の祭り、3回目は力尽きて万事休す。

正直に云って「今回は出場した以上は100kg成功し、そろそろ限界なので引退しよう」と考えていた。だが不成功だったが却って自信がついた為、成功する迄再挑戦したい意欲が湧いてきた。

ましてや昨年7月26日「NHKTVおはよう日本」に出演したり、今年7月9日「NHKFM」に生出演したりした時に

「80代で100kgに挑む、しかも絶対やる!!」と公言してしまったから大変である。有名なSウエルマンの詞に「年を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時に老いがかかる、人は信念と共に若く・・・」とある。

また、私の幸せは「毎日目的に向かって刺激・変化を求めて夢中に生きる」事である。

それらをバックグラウンドに、とことんやりぬく覚悟でいる。

私はいずれ近々に宇宙へ帰る(火葬⇒二酸化炭素⇒宇宙へ)事になるが、それまでくよくよしても始まらない、燃え尽きたいのである。

私のパワーリフティング史(平成8年9月アサマジムへ入門・中盤よりベンチプレス史へ)は大した実績もないが強いて云うならば、ベンチプレスで8回日本記録を更新する。昔は良い時代だったから出来たと思う。唯二誇れる事は、「いまだに現役続行中」である点と「大器晩成型」である。その根っこは

- ① ベンチプレスが生き甲斐である。
- ② 大学時代、己に負けて途中で退部(レスリング)し、部に非常に迷惑を掛けたトラウマの克服
- ③ 後輩を少しで勇気づけられれば幸甚であるの3点であろう。

私は何の目的も無くボヤーとしていたら生きる意欲を失い、人生は終わるであろうと思い、今でも体力づくりに励んでいる。

云うならば老化を少しでも遅らせる戦いと精神修業をしているつもりでいる。人の命は生きたくとも、死ぬときは死ぬし、生きたくなくても、天命があれば生き続ける。いつ天命が下ってもいいように明かしく、楽しく、かつ真剣に生きようと心がけている。最後に私は斑呆(マダラボ)け寸前があるのでいささか乱文あるもお許し頂きたい。

ありがとう!!

power SRAMBLE

■ 戦国武将、池田恒興

家臣子孫

香西和義 さん



9月15日に開催された、ジャパクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会、M3の部優勝の香西和義さんは、戦国武将、池田恒興家臣の子孫なのでそうです。香西さんが先祖のお墓参りをされたことが大きく新聞に報道されました、と、ご報告いただきました。貴重な情報をありがとうございます。

写真左下は、右側が香西選手で優勝。香西選手の左側には、2位に入った、沖縄の盛龍也選手。

盛さんにも、いつも、沖縄の貴重な新聞を提供していただいています。

盛さんの左側は、この度、JPAの新会長になられた古城資久氏です。



琉球新聞

2019年(令和元年)9月18日 水曜日

1584年の小牧・長久手の戦いで、豊臣秀吉に従い、主君池田恒興と共に戦死した家臣のうちの1人香西又市の子孫、香西和義さん(63)＝岡山市＝が16日、池田町を訪れ、岡町本郷の龍徳寺近くにある池田恒興・元助父子の墓に参った。

(杉原康仁)

先祖の主君を墓参り

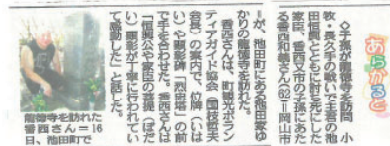
戦国武将・池田恒興家臣の子孫



香西和義さん 池田町を訪問

香西和義さん(右)が池田町を訪問し、池田恒興・元助父子の墓に参った。

中日新聞 9月22日(日曜日)



龍徳寺を訪れた香西さん＝16日、池田町で

香西和義さん(右)が池田町を訪問し、池田恒興・元助父子の墓に参った。

あさひ

香西和義さん(右)が池田町を訪問し、池田恒興・元助父子の墓に参った。

power



S ^R ^A ^B ^B ^E
C M L E



power

S ^R ^A ^B ^B ^L ^E
C M L M L E

2009年アジア選手権、白のマイシャツ中央が上野浩幸氏

power

S ^R ^B ^B ^A ^M ^L ^E
SCRAMBLE



power

S ^R ^A ^B ^B ^L ^E
C M L E



power

S ^R ^A ^B ^B ^M ^L ^E
SCRAMBLE
